

## みらいの県土研究会地域部会（袋井地域）

### 議 事 要 旨

日 時 : 令和6年12月9日(月) 14:00~16:00

場 所 : 袋井土木事務所 3階大会議室

出席者 : 別紙出席者名簿のとおり

議事次第に基づき技術調査課から説明を行った。

発言者からの主な意見は以下の通り。

#### 【情報共有】

- 1 静岡県における建設発生土リサイクルへの取組
- 2 建設発生土の適正処理に向けて
- 3 関係団体、各事業者の業務紹介

※建設発生土に関する意見等を記載

#### ○砕石業協同組合

- ・ 焼津市以西と浜松市以東までの間が、採石場の空白地帯となっている。
- ・ 需要と供給が継続できる持続可能な仕組みの構築をお願いしたい。

#### ○松下組

- ・ 建設発生土の処分場を県の林地開発と市の土地改良事業との許可で建設発生土の受入れをしながら、広大農地を造る事業を受託している。

- 4 県機関・市町の主要事業の紹介

※建設発生土に関する意見等を記載

#### ○袋井土木事務所

- ・ 磐田市の防潮堤工事で第3種以上の土が約60,000 m<sup>3</sup>必要となるため、SSMに登録している。受け入れ期間は令和7年12月まで。防潮堤工事用のストックヤードがあるため、受入時期は調整可能。
- ・ 国道150号磐南バイパスの事業用地を活用して、ストックヤードを整備する。容量は8,000 m<sup>3</sup>程で、すでに7,000 m<sup>3</sup>程埋まっている。これらの土は、磐田の防潮堤の盛土材として徐々に搬出予定。

### ○中遠農林事務所（農地）

- ・ 耐震補強を目的とするため池整備が今後、20年以上続く見込み。自走式土質改良機を現場に持ち込み押しえ盛土を行っているが、堆積土は土質が悪いため、最終処分場している。
- ・ 農地防災ダム工事で定期的に 5,000 m<sup>3</sup>ほどの土が出ており、防潮堤工事に運搬している。

### ○中遠農林事務所（森林）

- ・ 治山課での工事は、基本的に現場内利用を行っている。

### ○御前崎港管理事務所

- ・ 港内にたまる土砂浚渫の工事を行っているが、良質な砂のため、海水浴場の近くに入れている。
- ・ 清水港のように御前崎港でも土を受け入れ可能かという問い合わせがあるが、岸壁の使用量が減っているため、岸壁を拡げて埋め立てる状況にないことを認識して頂きたい。

### ○袋井市

- ・ 大きな事業の見込みはない。
- ・ 河川改修工事では、土質が悪くて最終処分している。

### ○磐田市

- ・ 大きな事業の見込みはない。
- ・ 良質土は防潮堤、区画整理事業の造成の埋戻しに利用し、それ以外の土砂は砂利採取事業の埋戻しに利用している。

### ○掛川市

- ・ 令和8年度までの防潮堤工事に約 270,000 m<sup>3</sup>の土が必要。供給先の目途は立っているが、土の搬出予定があれば、話だけでも担当課にいただきたい。

### ○森町

- ・ 町の処理場等がないため、基本的には処理施設一覧表により処分している。
- ・ 設計の段階で、発生土を減らす工法選定や町の他課と調整を行っている。
- ・ 下水道事業は改良プラントを利用し、最終処分を減らす取り組みをしている。
- ・ 令和4年と5年の災害復旧工事で大量の土砂が出る見込みで、対応を検討中。

## ○菊川市

- ・ 基本的に利用できる土は有効利用している。
- ・ 盛土条例をきっかけに路床工などは、置き換えからセメント安定処理など発生抑制の工法に方向転換している。
- ・ 今後、菊川市建設業組合が、市内に公共残土処分場設置を考えており、市はそれに協力していくことで考えている。

## ○御前崎市

- ・ 開発する工事が少なめ残土は市外の残土処分場に持って行く設計となっている。
- ・ 建設業組合と市内にストックヤード及び処分場の設置について協議中。

## 【意見交換】

- 1 袋井土木事務所管内の建設発生土の状況
- 2 意見交換

## (1) 新材について

### ○砕石業協同組合

- ・ 採石の出荷量が減少し、ここ数年、採石業者が減少している中で、アスファルト合材プラントへの出荷を増やしているが、単粒砕石を作る過程で副産物として発生する 40-0 砕石の路床・路体の出荷が目減りして、はけ口に困っている。
- ・ 砕石の採取にあたり、表土をめくる作業があり、発生土が出るが場外へ搬出しており、民間とのマッチングがあるかを知りたい。

### ○技術調査課

- ・ リサイクル推進が前提であるが、行政側としても新材利用とのバランスが重要であり、今後も話し合いの場が必要だと思う。
- ・ 表土のはけ口先について、民間との取引に SSM を活用して頂きたい。

## (2) 当面の発生土の利用調整

### ○技術調査課

- ・ 現在の他機関との発生土利用調整はどのように行っているか。また小規模事業の少量の発生土を処理施設に持ち込む際に、土質の調査費用が必要となる場合があるようだが、実務としてどうか。

#### ○袋井建設業協会

- ・ 大規模な工事に関しては、地質調査や地歴の費用は十分に賄えるが、小規模工事で数 m<sup>3</sup>の土質の証明などの費用が賄えず処分場に持っていけない事例がある。

#### ○技術調査課

- ・ 発注者として、小規模工事の土の処理について、今後、考えていく必要がある。

### (3) 長期的な発生土の利用調整

#### ○袋井土木事務所

- ・ 袋井土木は国土強靱化関連事業として太田川流域の浚渫を継続的に行っており、土砂の搬出が非常に多い。
- ・ しかしながら、関連予算が頭打ちとなっていることに加えて、昨今の人件費や処分費等の高騰により、搬出量は減少傾向にある。
- ・ 河川の浚渫は継続的に必要なため、防潮堤工事が終了すると最終処分場に持って行かざるを得ない。

#### ○松下組

- ・ 最終処分場の規模は県内最大級である。
- ・ 将来的に処分場を拡張していく予定であるが、処分場に適した土地は限られている。
- ・ 良質土はストックして再利用、不良土も改良できる範囲は改良して有効利用することが重要であるが、その場所があるかが地域部会の論点になる。
- ・ 残土処分場を拡張し、ストックヤードと改良プラントを併設できるのが一番良いと考え、そこで官民で土質改良の試験施工等を行っていくべきだと考える。
- ・ 有事の際に24時間対応できるストックヤードや改良プラント、残土処分場を県や協会でも試験施工も含め実現に向けていきたい。
- ・ 土の受入れにおいて、土壌汚染が心配であるため、基本的に官庁の土のみを受け取っており、官庁でもきちんと管理されていない土は受け取らない方針である。

#### ○技術調査課

- ・ 県の方でも汚染のロットや計測するタイミング、受け入れる土の土質区分の判断方法などを技術的に定めていきたい。

#### (4) その他

##### ○袋井建設業協会

- ・ 現場からすぐ近くに残土処分場があるにもかかわらず、遠い場所へ土を運ぶためダンプの手配に困っている。

##### ○袋井土木事務所

- ・ 発注者の立場とすれば、搬出工事と搬入工事のトータルで考えている。搬出工事だけを考えれば、直近の処分場で最終処分が安価で環境にも配慮していることになるが、土砂が欲しい工事は他から受け入れるか購入土となる。その際の土砂運搬にもダンプトラックは必要となる。

#### ○技術調査課

- ・ 県のルールでは、有効利用できない土のみ、最終処分することとなっている。ただ、実際のダンプの手配などが難しいのであれば監督員と協議する必要がある。

##### ○袋井土木事務所

- ・ 河川の河道掘削工事では、川の中に入るための仮設の搬入路を設ける必要があるが、流用土を転用する場合、転用した土を最終処分する際に受け入れが困難となるケースも想定される。土砂についても仮設材のリースのような仕組みがあると有難い。

#### ○技術調査課

- ・ 静岡のストックヤードでは、仮設材の利用に関する検証を行っている。建設事業者と連携して仕組みができれば良いと考える。

# 第1回みらいの県土研究会地域部会

日時 令和6年12月9日（月）14時～

場所 袋井土木事務所3階大会議室

## 次 第

### 1 開 会

○会の主旨説明【資料1】

### 2 情報共有

(1) 静岡県における建設発生土リサイクルへの取組【資料2】（技術調査課）

(2) 建設発生土の適正処理に向けて【資料3】（技術調査課）

(3) 関係団体、各事業者の業務紹介

(4) 県機関・市町の主要事業の紹介

### 3 意見交換

(1) 静岡県内の建設発生土の状況【資料4】（技術調査課）

(2) 意見交換

(3) まとめ

### 4 今後の予定（技術調査課）・閉会

## (別紙) 미래의 県土 研究会 地域部会 出席者名簿

日時： 令和 6 年 12 月 9 日 ( 月 ) 14 時 ~

場所： 袋井土木事務所 3 階大会議室

### 地域名： 袋井

機  関  名	所  属  名	職  名	氏  名	備  考
【静岡県 (  土木 )  】				
袋井土木事務所	企画検査課	班長	篤保  佳伸	
		総括主査	永田  浩司	
		主査	大川  孝史	
【静岡県 (  農林 )  】				
中遠農林事務所	農地防災課	班長	戸塚  雅敏	農地
	治山課	班長	渥美  咲子	森林
【静岡県 (  港湾 )  】				
御前崎港管理事務所	企画振興課	課長	牧村  真司	
【市町】				
袋井市	都市整備課	係長	中島  英之	
	財政課	契約検査室長	廣岡  由記	
磐田市	契約検査課	課長補佐	石神  正康	
		主任	鈴木  邦彦	
掛川市	行政課	室長	川嶋  正広	
		検査官	松田  靖志	
菊川市	建設課	係長	野口  宏道	
	都市計画課	係長	松本  将孝	
御前崎市	建設課	課長補佐	松島  利充	
森町	建設課	技幹	鈴木  英寿	
	上下水道課	技幹	久野  雄太	
【県建設業協会】				
袋井建設業協会		理事	樽林  眞悟	
(  袋井建設業協会 )		理事	松下  進一	
【県砕石業協同組合】				
SKマテリアル(株)静岡事業部		営業課長	湯本  哲也	
中部採石工業株式会社浜北事業本部		常務取締役	川合  浩隆	
静岡県砕石業協同組合	事務局	専務理事	桑原  裕明	WEB参加
【処分場事業者】				
株式会社松下組		代表取締役	松下  進一	
【技術調査課】				
県交通基盤部	技術調査課	班長	牧野  忠広	
		主幹兼総括主査	稲毛  純一	
		主査	横田  千寛	
【県建設業協会】				
(  一社 )  静岡県建設業協会		専務理事	石野  好彦	事務局